

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	史跡小牧山整備事業					担当部	教育委員会事務局								
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系			担当課	小牧山課							
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降			担当係	史跡係							
	総合計画 新基本計画	施策等	4 教育文化		15 文化振興		3 小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	10		項	5		目	7		大	2		中	2	
	根拠法令・個別計画	史跡小牧山整備構想・文化振興ビジョン														
	目的	何・誰を対象に	小牧山を訪れた方													
		どの様な状態にするのか	発掘調査を行って基礎資料を作成し、貴重な歴史遺産を後世に残すための整備をおこなう。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査（主郭地区第8次 計327㎡） 史跡小牧山整備計画基本構想に基づき、保護と活用のバランスのとれた整備を進めるとともに、発掘調査を実施して整備のための基礎資料を収集した。</li> <li>主郭地区第8次発掘調査ビデオ記録撮影及び航空撮影 今後の整備のため、石垣の状態をビデオ撮影及び航空撮影し、記録として残した。発掘調査は職員が中心となり、アルバイト作業員を指揮して調査、記録、保存を実施。その他、発掘調査現地説明会の実施や補助金の申請業務等各種所手続きを行った。</li> <li>日本庁舎跡地基盤整備工事 市役所日本庁舎跡地を史跡整備するため、敷地造成や用壁工等の粗造成工事を行った。</li> </ul> <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計・監理委託料(旧本庁舎跡地基盤整備工事監理)(1,458千円)</li> <li>測量委託料(三次元計測)(5,395千円)</li> <li>史跡小牧山整備調査研究委託料(348千円)</li> <li>ビデオ記録撮影委託料(1,075千円)</li> <li>史跡小牧山整備工事(旧本庁舎跡地基盤整備工事)(57,650千円)</li> <li>発掘調査埋戻し等工事費(9,009千円)</li> <li>その他、発掘調査作業員賃金、旅費、消耗品費等(10,684千円)</li> </ul> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計・監理委託料(史跡センター周辺整備実施設計・堀の内体育施設解体工事監理)(8,718千円)</li> <li>測量委託料(三次元計測)(7,500千円)</li> <li>ビデオ記録撮影委託料(800千円)</li> <li>史跡小牧山主郭地区仮整備基本計画策定委託料(540千円)</li> <li>史跡小牧山整備工事費(旧本庁舎跡地整備工事、堀の内体育施設解体工事)(168,300千円)</li> <li>発掘調査埋戻し等工事費(5,500千円)</li> <li>その他、発掘調査作業員賃金、旅費、消耗品費等(10,521千円)</li> </ul>														
受益者負担	無															

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	31,856	36,176	85,619
正職員		従事者数	人	0.40	1.00	1.00	1.50
		人件費	千円	2,200	5,501	5,501	8,251
その他職員		従事者数	人	12.50	15.00	15.00	15.00
		人件費	千円	6,760	10,138	9,711	7,706
費用合計		千円	40,816	51,815	100,831	217,836	
対前年比		%		126.9	194.5	216.0	
財源	一般財源		千円	29,989	44,839	67,229	150,276
	国・県支出金		千円	10,827	6,976	33,602	67,560
	その他財源		千円	0	0	0	0

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	発掘調査	㎡	目標	430	430	310
実績				322	260	327	
発掘調査現地説明会		回	目標	1	1	1	2
			実績	1	1	1	
成果指標名	単位			H25	H26	H27	H28
		記録保存	㎡	目標	430	430	310
発掘調査現地説明会参加者	人	目標		—	—	—	—
		実績		500	700	500	

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	
	事業の達成状況	主郭地区の発掘調査を行った結果、南側階段と東側スロープの2箇所が大手と搦手虎口であること、またその構造等を確認するなど、今後の整備に向けた大きな成果を得ることができた。また、日本庁舎跡地基盤整備工事を行い、次年度に向けての進捗を図ることができた。
	事業実施における課題	史跡整備や小牧山城の発掘調査に対して必ずしもすべての市民の理解を得られていない状況にある。
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	発掘調査箇所、三次元レーザー測量や映像記録・航空撮影により、(仮称)史跡センターの展示で使用するための資料や、主郭地区整備のための基礎資料を得ることができ、貴重な歴史遺産を後世に残すための整備を行うことができる。
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	引き続き小牧山城の発掘調査を行い、整備のための情報を得るとともに、(仮称)史跡センター周辺の史跡整備により史跡小牧山の本来の姿に戻すことで、歴史的価値を高めていく。
	29年度以降の改善案	(仮称)史跡センターを利用し、小牧山の歴史的価値や魅力を情報発信し、小牧山整備の必要性について啓蒙を図る。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。